

事務事業名		議会広報支援事務		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業																													
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間																													
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の確立																															
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進		単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)																													
根拠法令		地方自治法109条、109条の2、110条		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																													
所属	部課名	議会事務局		全体計画 (※期間限定複数年度のみ)																													
	課長名	金野敏夫																															
	係名	庶務係	電話 27-3111																														
	担当者	水野克恵	内線 240																														
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 定例会ごとに、議員の編集により議会だよりを作成し、市内全戸等へ配布(年4回)している。印刷契約、原稿の校正・編集・写真撮影、発注、全戸配布のための庁内作業等において、事務局職員が支援している。 また、会議録を作成し、市ホームページの会議録検索システムに掲載している。システムの管理運営は、業者に委託している。 さらに、市民がより気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようにすることで、「開かれた大船渡市議会」のイメージアップとともに、市民にとって議員活動を理解する一手段となり、議会に対する関心が深まることを目的に、平成25年度から市民ホールでの議場中継を開始したほか、27年度からのインターネット中継の実施に向けて、26年度に設備の整備を行った。議場放送・映像中継設備の保守を業者に委託している。				<table border="1"> <tr><td>総投入量 (千円)</td><td>0</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>0</td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td></td></tr> <tr><td> 国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td> 都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td> 地方債</td><td></td></tr> <tr><td> その他</td><td></td></tr> <tr><td> 一般財源</td><td></td></tr> <tr><td> 事業費計 (A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td></td></tr> <tr><td> 正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td> 延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td> 人件費計 (B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量 (千円)	0	事業費	0	財源内訳		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費		正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	0																																
事業費	0																																
財源内訳																																	
国庫支出金																																	
都道府県支出金																																	
地方債																																	
その他																																	
一般財源																																	
事業費計 (A)	0																																
人件費																																	
正規職員従事人数																																	
延べ業務時間																																	
人件費計 (B)	0																																
トータルコスト(A)+(B)	0																																

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・議会だよりを定例会ごとに作成し、市内全戸へ配布(年4回)。 ・会議録の作成、会議録検索システムの管理運営等。 ・議場中継の実施。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・議会だよりを定例会ごとに作成し、市内全戸へ配布(年4回)。 ・会議録の作成、会議録検索システムの管理運営等。 ・議場中継の実施。インターネット中継の実施を検討する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 発行回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 会議録の作成</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ 議場中継</td><td>回</td></tr> </table>	名称	単位	ア 発行回数	回	イ 会議録の作成	回	ウ 議場中継	回
名称	単位								
ア 発行回数	回								
イ 会議録の作成	回								
ウ 議場中継	回								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象)議会だより編集委員会 (間接の対象)市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 議会だより編集委員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>ク 議員数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	カ 議会だより編集委員数	人	キ 人口	人	ク 議員数	人
名称	単位								
カ 議会だより編集委員数	人								
キ 人口	人								
ク 議員数	人								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 編集委員会の編集、発行がスムーズにいくように支援する。 市民に議会の活動が速やかに、かつわかりやすく伝えられる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 予定日に発行できた割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>シ 会議録のHPへの掲載率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ス 議場中継の実施率</td><td>%</td></tr> </table>	名称	単位	サ 予定日に発行できた割合	%	シ 会議録のHPへの掲載率	%	ス 議場中継の実施率	%
名称	単位								
サ 予定日に発行できた割合	%								
シ 会議録のHPへの掲載率	%								
ス 議場中継の実施率	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 計画的に質の高い行政運営がなされている。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">投入量</th> <th rowspan="2">事業内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>3,004</td> <td>3,612</td> <td>3,726</td> <td>4,763</td> <td>5,300</td> <td>5,300</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>3,004</td> <td>3,612</td> <td>3,726</td> <td>4,763</td> <td>5,300</td> <td>5,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>220</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>880</td> <td>800</td> <td>800</td> <td>800</td> <td>800</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>3,884</td> <td>4,412</td> <td>4,526</td> <td>5,563</td> <td>6,100</td> <td>6,100</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤ 活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>回</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥ 対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td>39,376</td> <td>39,117</td> <td>38,871</td> <td>38,712</td> <td>38,712</td> <td>38,712</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>人</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦ 成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>25</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </table>		投入量	事業内訳	単位	年度					23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	事業費	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	3,004	3,612	3,726	4,763	5,300	5,300	事業費計(A)	千円	3,004	3,612	3,726	4,763	5,300	5,300	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	延べ業務時間	時間	220	200	200	200	200	200	人件費計(B)	千円	880	800	800	800	800	800	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,884	4,412	4,526	5,563	6,100	6,100	⑤ 活動指標	ア	回	4	5	4	4	4	5	イ	回	35	35	35	39	4	4	ウ	回	4	4	7	18	10	10	⑥ 対象指標	カ	人	8	7	7	7	7	7	キ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,712	38,712	ク	人	25	20	20	20	20	20	⑦ 成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100	シ	%	100	100	100	100	100	100	ス	%			25	100	100	100
投入量	事業内訳				単位	年度																																																																																																																																																																			
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)		26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																	
事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																							
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																							
	地方債	千円																																																																																																																																																																							
	その他	千円																																																																																																																																																																							
	一般財源	千円	3,004	3,612	3,726	4,763	5,300	5,300																																																																																																																																																																	
	事業費計(A)	千円	3,004	3,612	3,726	4,763	5,300	5,300																																																																																																																																																																	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																	
	延べ業務時間	時間	220	200	200	200	200	200																																																																																																																																																																	
	人件費計(B)	千円	880	800	800	800	800	800																																																																																																																																																																	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,884	4,412	4,526	5,563	6,100	6,100																																																																																																																																																																	
⑤ 活動指標	ア	回	4	5	4	4	4	5																																																																																																																																																																	
	イ	回	35	35	35	39	4	4																																																																																																																																																																	
	ウ	回	4	4	7	18	10	10																																																																																																																																																																	
⑥ 対象指標	カ	人	8	7	7	7	7	7																																																																																																																																																																	
	キ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,712	38,712																																																																																																																																																																	
	ク	人	25	20	20	20	20	20																																																																																																																																																																	
⑦ 成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																	
	シ	%	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																	
	ス	%			25	100	100	100																																																																																																																																																																	

事務事業ID	0758	事務事業名	議会広報支援事務
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	議員の生の視点で、議会の活動状況を伝える「議員手製の議会報」を発行したいという提案が有志議員からあり、議会だより発行規程を設けて、編集を開始。会議録については、議会制度の導入とともに、開始。検索システムは、平成17年度から導入。 また、議会活動の活性化を図る議会改革特別委員会での討議の結果、本会議等の公開を推進する目的で、平成26年1月から市民ホールへの議場中継を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	昭和62年創刊以来、市議会だより発行規程に基づき、議員手づくりによる編集発行を行っている。 会議録は、冊子として印刷し、議員に配布するとともに、18年3月からは市ホームページに掲載し、インターネットでも閲覧可能になった。 議場中継については、市民がより気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようになった。 全国的に、議会の運営や透明性の確保など、議会改革の機運が高まっており、議会のインターネット中継など、様々な取り組みが各地でなされている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	紙面についての市民の意見はそれぞれあると思うが、編集委員会の業務を議会事務局職員が支援する事業については、特になし。紙面についても、編集委員が、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを行っている。市ホームページへの会議録の掲載や議場中継について意見は特によせられていないが、市民にとって議員活動を理解する一手段となっており、議会に対する関心が深まることが期待できる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> ムページ、市の広報。情報通信技術の進歩等により、会議録の閲覧や、調査情報収集の方法も変化すると思うが、事務事業としては、他の手段はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ホームページへの掲載事業も考えられるが、インターネットは紙面と異なり、全市民に届けることは困難である。また、市の広報とは、異質なものであり、統一は困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 議会だよりについては、年4回という発行回数、発行期日を守り全戸配付することにより、市民に議会の活動を速やかに伝えることができた。会議録の作成については、臨時会の開催回数が多く校正作業に時間を要したため、ホームページ公開までに多少の時間を要した。平成26年2月の定例会から市民ホールへの議場中継を開始し、市役所来庁者が気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようにした。今後、インターネット中継の実現など、より広報の充実を図る。																	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>より多くの市民に議会活動を理解していただくため、今までの取り組みのほかに平成27年度からのインターネット中継導入を目指し、設備の整備を行った。また、議場に実際に足を運んで議会傍聴する市民の増加を目指す。現在、会議録のホームページ公開は議場で行う本会議、特別委員会となっているが、今後は全員協議会の会議録の公開を検討する必要がある。</p>		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上			●	維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																											
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																															
成果	コスト																														
	削減	維持	増加																												
向上			●																												
維持			×																												
低下		×	×																												
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 議会傍聴者の増加のためには、議会に対する興味を持っていただく必要があり、そのためには、議会だより紙面の工夫やホームページの充実などの広報が重要となってくる。																															

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者	議会事務局長	金野敏夫
-------	--------	------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																															
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 議会活動への関心を高めるため、さらにインターネット中継の実施など、より市民に開かれた議会への努力が必要である。																	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>議員手作りによる議会だよりの発行、市民ホールへの議会中継等の継続に併せ、インターネット中継などの実現に努め、議会広報の充実を図る。</p>		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上			●	維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																											
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																															
成果	コスト																														
	削減	維持	増加																												
向上			●																												
維持			×																												
低下		×	×																												

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
